

マスターボードのボード番号を0に設定します。

使用するスレーブユニットはパルスコントローラをスレーブアドレスNo. 1に設定します。

MCM SHEET DOWN LOADボタンを用いる場合は、サンプルプログラムフォルダにある

MpIMCMSample.csvを使用してください。

事前にSSMAP-56を使って、X軸のSHEET0のMpIMCMSample.csvを読み込み、データを書き込んでください。

本サンプルプログラムはX軸でのみ動作します。



ENVIRONMENTボタン

OPENボタン

CLOSEボタン

ENDボタン

MCM SHEET DOWNLOADボタン

MCM RAM WRITEボタン

MCM STARTボタン

- ... 環境設定します。
- ... ユニット、デバイスをオープンします。
- ... ユニット、デバイスをクローズします。
- ... サンプルプログラムを終了します。
- ... SHEET0のデータをダウンロードします。
- ... X軸のRAM領域に実行コマンドを直接書き込みます。
- ... X軸のMCM動作をADDRESS0からSTARTします。

動作は下記の往復動作を行います

+3000PULSE CW方向にDRIVE

-3000PULSE CCW方向にDRIVE

速度設定は下記の設定

FSPD : 5000Hz→10Hz(往復のつなぎ目)

HSPD : 5000Hz

RESOL(速度倍率) : No. 3(×1)

LSPD : 1000Hz

ELSPD : 1000Hz

RATE UCYCLE : 100 μs周期

RATE DCYCLE : 100 μs周期

MCM SLOW STOPボタン

MCM FAST STOPボタン

MCM CLEAR ERRORボタン

PULSE COUNTER RESETボタン

- ... X軸に即時停止機能を実行します。
- ... X軸に減速停止機能を実行します。
- ... 全軸にMCMエラーをクリアします。
- ... X軸のPULSE COUNTERを0にリセットします。

MCM STATUS1ラベル

MCM ADDRESSラベル

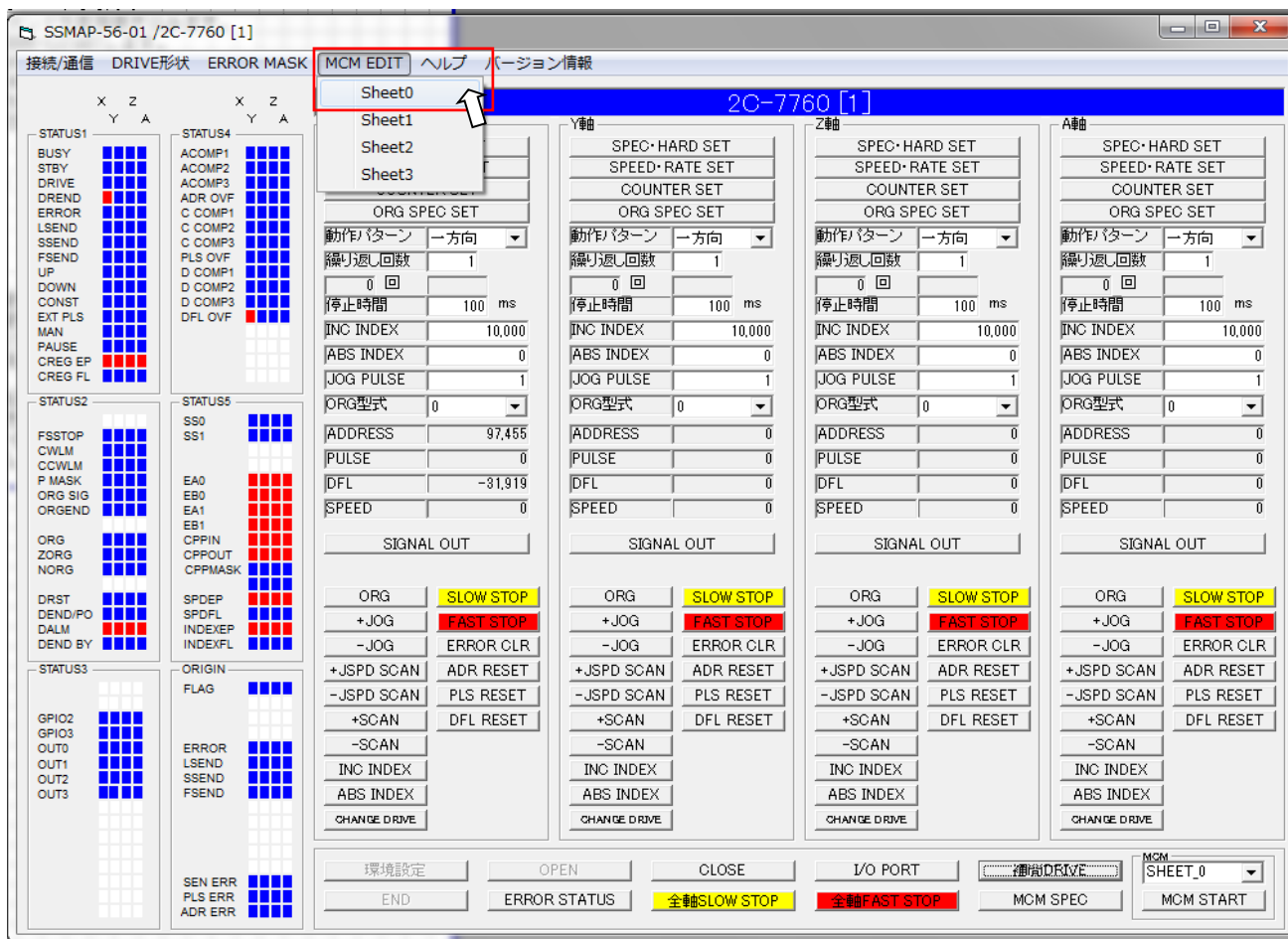
PULSE COUNTERラベル

MESSAGEラベル

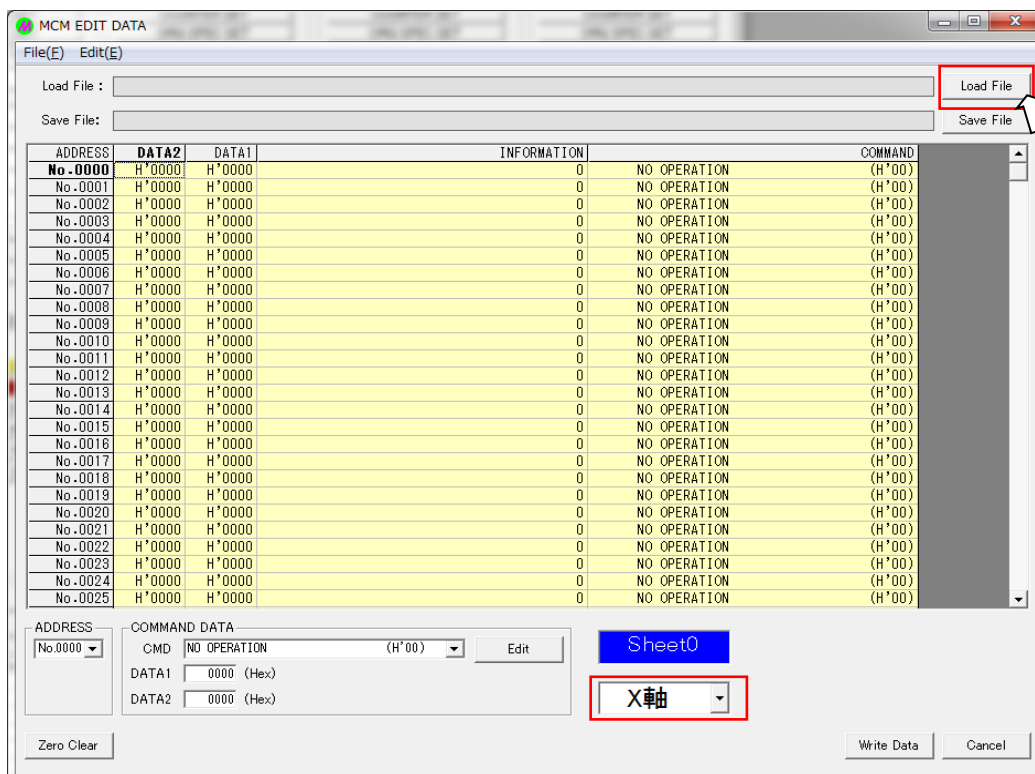
- ... MCM STATUS1の状態を表示します。(16進表記)
- ... X軸のRAM領域の次に実行するメモリアドレスを表示します。
- ... X軸のパルスカウンターの値を表示します。
- ... 処理メッセージを表示します。

○MCMデータ登録手順

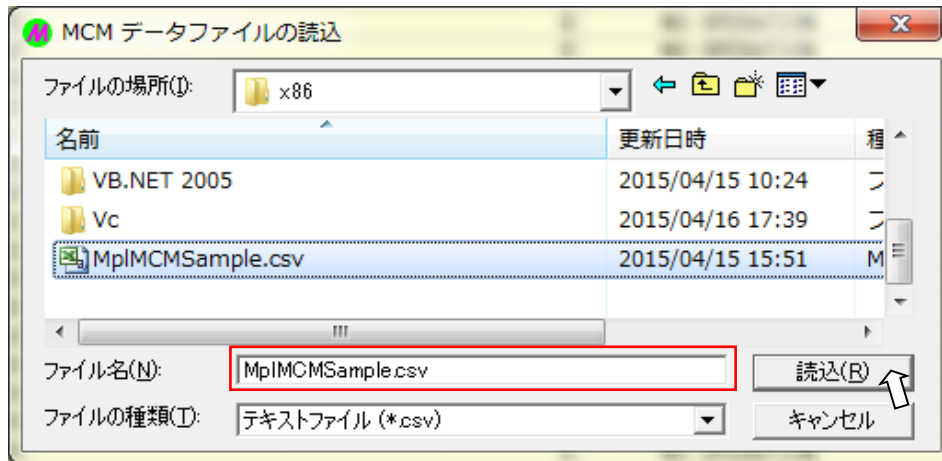
- ① SSMAP-56を起動して、メニュー > 「MCM EDIT」 > 「Sheet0」を選択します



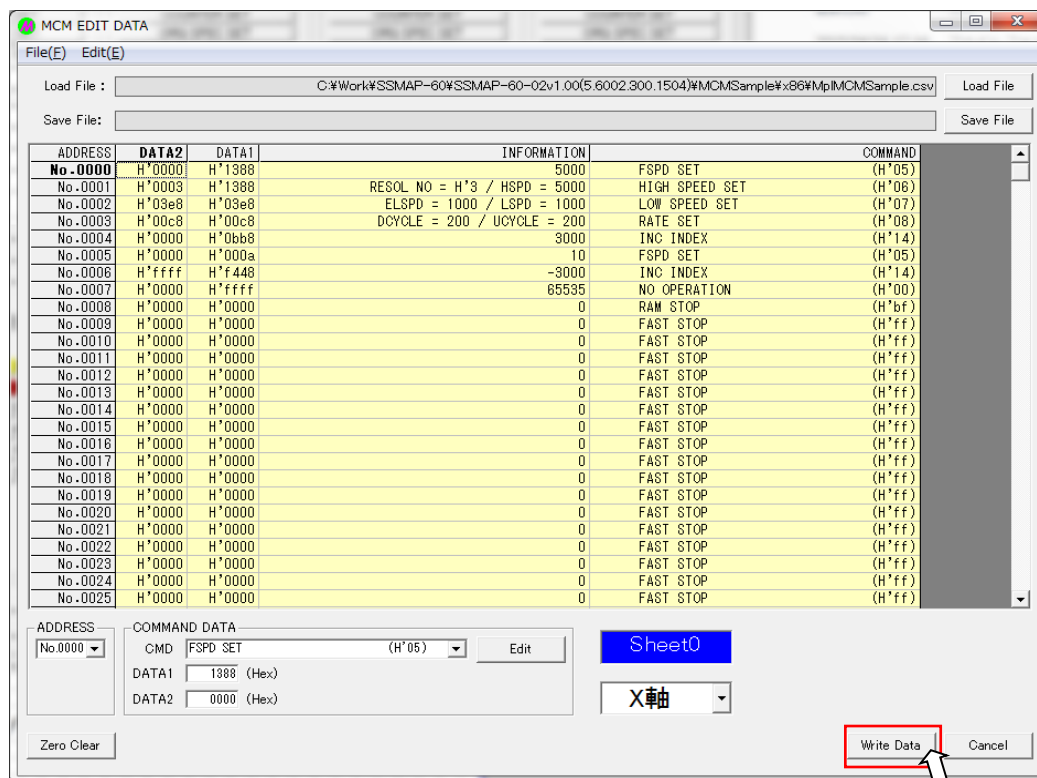
- ② 「X軸」が選択されていることを確認して、MCM EDIT DATA画面の「Load File」ボタンをクリックします。



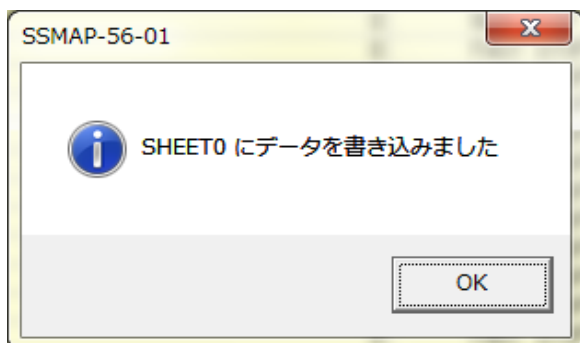
- ③ サンプルプログラムフォルダにある「MplMCMSample.csv」を選択して、読込ボタンをクリックします。



- ③ サンプルプログラムのMCMデータが読込まれるので、「Write Data」ボタンをクリックします。



- ④ 正常にMCMデータが書き込まれると下記メッセージが表示されます。



メッセージが表示されていれば、MCMサンプルプログラムに必要なMCMデータが登録されました。SSMAP-56を終了して、MCMサンプルプログラムを実行してください。